

前回定例会(平成22年6月3日)以降の行政の動き

平成22年7月7日
新 潟 県

1 安全協定に基づく状況確認

○平成22年6月5日(状況確認) 県、柏崎市、刈羽村

<主な確認内容>

- ・ 1号機仮並列操作状況
- ・ 1号機主タービン起動状況

○平成22年6月10日(月例状況確認) 県、柏崎市、刈羽村

<主な確認内容>

- ・ 1号機試運転状況(発電機出力75%)
- ・ 3号機非常用ディーゼル発電機の潤滑油漏えい現場
- ・ 4号機主タービンの潤滑油漏えい現場

2 技術委員会の開催

[設備健全性、耐震安全性に関する小委員会]

○平成22年6月9日(第39回)

<議事概要>

【1号機起動試験の実施状況について】

- ・ 東京電力から、出力20%状態までの試験結果及び不適合事象について説明がありました。
- ・ 委員からは、特に原子炉給水ポンプの弁の不具合について質問があり、東京電力の対応状況等が確認されました。

【5号機の耐震安全性評価(機器・配管系)について】

- ・ 東京電力から、委員の質問に対する回答として、解析の結果が評価基準値に近い設備等について補足の説明があり、委員から異論はありませんでした。

【5号機の設備健全性評価に関する報告書について】

- ・ 東京電力から、委員の質問に対する回答として、地震応答解析に含まれる裕度等について説明がありました。
- ・ 委員からは、更に詳しい説明を求める意見があり、次回に回答することとされました。

○平成22年6月22日(第40回)

<議事概要>

【1号機起動試験の実施状況について】

- ・ 東京電力から、定格熱出力段階までの試験結果について説明があり、確認されました。

【5号機の設備健全性評価について】

- ・ 東京電力から、委員の質問に対する回答として、点検と解析で整合しない結果が得られたことについて補足の説明があり、委員から異論はありませんでした。

【5号機建物の健全性評価に関する報告書について】

- ・ 東京電力から、タービン建屋耐震壁に発生したひび割れの補修状況等について説明があり、委員からは、ひび割れが貫通している場合の安全性について質問がありました。
- ・ 東京電力は、今回確認された程度のひび割れであれば、強度や遮へい等への影響はないと回答し、委員から異論はありませんでした。

○平成22年7月7日（第41回）

<議題>

- 【1号機起動試験の実施状況について】
- 【5号機の議論の状況について】
- 【3号機の健全性評価について】

3 1号機の起動試験に係る対応状況

(1) 起動試験の状況、放射線等監視データの提供（継続）

起動試験の状況と放射線監視データの提供（毎日10時）を継続しています。
(以下のホームページでご覧いただけます)

<http://www.pref.niigata.lg.jp/genshiryoku/1242763289624.html>

(2) 原子炉隔離時冷却系主蒸気止め弁の不具合

○平成22年6月30日：報道発表

起動試験実施中の柏崎刈羽原子力発電所1号機では、原子炉隔離時冷却系の蒸気配管に設置された弁が、完全に蒸気を閉止できていない等の不具合が見つっていますが、本日、東京電力から、当該弁を分解して点検、修理するための作業を開始する、との報告を受けました。

今回の事象と東京電力の点検計画について、県技術委員会、設備・耐震小委員会委員長の北村正晴東北大学名誉教授にご確認をお願いしたところ、

「今回不具合のあった原子炉隔離時冷却系は、通常時には使用しない設備であり、当該設備の機能をバックアップする設備も別に設置されている。現時点で公表されている情報によれば、注水機能自体に問題はないと判断できる。それゆえ、この不具合自体が原子炉運転の安全上重大な影響を与えるものとは考えていない。しかしながら、品質保証の観点から、不具合のあった弁等を分解点検し、原因を究明して実効的な対策をほどこすことはしっかりと行ってもらいたい。」

とのコメントをいただきました。

これを踏まえ、県から、東京電力に対し、当該設備の点検、調整を確実にやり、県の技術委員会、小委員会に報告するよう求めました。

4 その他

(1) 島根原子力発電所の点検不備に関する報告

○平成22年6月3日：報道発表

本日、東京電力から、中国電力島根原子力発電所において明らかになった保守管理の不備に関連して、柏崎刈羽原子力発電所で同様の不備が放置されるおそれがないか確認した結果について、別紙のとおり報告を受けました。(別紙省略)

なお、今回の報告は、本日、中国電力から調査の最終報告が原子力安全・保安院に提出されたことも踏まえて確認した結果ですが、報告内容は基本的には去る5月11日の県技術委員会で確認していただいた報告内容と同様です。

(2) 県モニタリングポストの線量率上昇を示す表示

○平成22年6月17日：報道発表（第1報）

昨日、柏崎刈羽原子力発電所周辺に県が設置している自動観測局（モニタリングポスト）のうち、刈羽局に設置されている電光表示板に、「現在、線量率が高くなっています。原因を調査中です。」とコメントが出て、それを見た方から、県に対して問い合わせがありました。

線量率を確認したところ、平常値の範囲内であったため、放射線監視センターでは、「誤表示の可能性はある」と考え、通報された方に対して、そのように説明するとともに、原因の調査を始めております。

なお、測定されている放射線量の値が正確であることは確認済みです。

現在、当該コメントが誤表示かどうかも含め調査中で、結果がわかり次第、早急に結果を公表します。

また、自動観測局に表示されていた原子力安全対策課の電話番号が誤っていたことも指摘されましたので、表示を訂正しました。県民の皆様にお詫び申し上げます。

(経過)

- 6月16日 9:30ごろ 県庁原子力安全対策課に、地元住民の方から、「今日9時過ぎの刈羽局の電光表示を見たら、『現在、線量率が高くなっている。原因を調査中』とのコメントが出ていた」と問い合わせがあった。
- 9:40ごろ 同じ方から放射線監視センターに同様の問い合わせがあった。
- 10:00ころ 放射線監視センター職員が現地で確認したが、表示内容に異常は見られなかったため、システムについてメーカーに問い合わせた。
- 11:00ころ 原因等がわかるまで、コメントを「調整中」に切り替えた。

以上のような経緯を経て、現在調査中です。

○平成22年6月18日：報道発表（第2報）

昨日、「県が柏崎刈羽原子力発電所周辺に11局設置している放射線自動観測局（モニタリングポスト）のうち、刈羽局に設置されている電光表示板に、放射線等の測定値とともに、『現在、線量率が高くなっています。原因を調査中です。』とのコメントが表示されていたとの問い合わせがあり、現在、県で調査を行っています。」とお知らせしました。

電光表示板には、放射線等の測定値とコメントが表示されますが、これまでの調査により、表示されている放射線等の測定値は正確であることが確認できましたが、その測定値や気象情報を基に自動的にコメントを切り替えて表示するシステムに、何らかの不具合や不適切な設定のある可能性が否定できないため、コメントの表示システムについて、製造メーカーとともに更に調査を行っています。

なお、調査と対応が終了するまでの間、暫定的な対応として、コメント内容が自動的に切り替わらないようにし、放射線等の測定値とともに最近の測定値の範囲を表示するように、本日朝までに設定を変更しました。

あわせて、万一、測定値が異常に上昇した場合は、手動でコメントを表示します。

また、上記のモニタリングポストの電光表示板以外には、県で公表している放射線関係のデータで同様に自動的にコメントを切り替えて表示するシステムはないことを確認しています。

コメントの表示システムの調査結果がわかり次第、改めてお知らせいたします。

(3) 福島第一原子力発電所2号機のトラブルを踏まえた対応

○平成22年6月18日：報道発表

昨日、東京電力福島第一原子力発電所2号機で発電機の故障のため、原子炉が自動停止し、これに伴う所内電源の切り替えの際、原子炉へ給水するポンプが一時的に停止するというトラブルが発生しました。

現在、東京電力が原因調査を行っているところですが、県では、その調査結果と柏崎刈羽原子力発電所でも同様のトラブルについて考慮する必要があるのか等について報告するよう求めました。

(4) 7号機定期検査の状況（原子炉起動）

○平成22年6月26日：報道発表

柏崎刈羽原子力発電所7号機は、4月17日から定期検査を実施していますが、起動前に実施する点検作業が終了したことから、本日26日0時に制御棒の引き抜きを開始し、原子炉を起動したと、東京電力から連絡を受けましたのでお知らせします。

県では、引き続き安全を最優先に取り組むよう要請しました。

(5) 中越沖地震3周年シンポジウム

○平成22年6月30日：報道発表

「新潟県中越沖地震3周年シンポジウム」を7月16日（金）に柏崎市産業文化会館で開催します。

【開催日時】平成22年7月16日（金）14時30分～16時45分（開場14時）

【場 所】柏崎市産業文化会館（柏崎市駅前2-2-45）

【テーマ】『原子力発電所の地震被害から見えてきたもの～住民の安全・安心のために必要な情報の扱い方～』

中越沖地震では原子力発電所も被災しました。原子力発電所立地での地震被害という特殊な事例について当時の情報の扱い方を検証し、住民の安全・安心のために必要な情報のあり方を考えます。

【出演者】

山崎 登 氏（NHK解説副委員長）

阿曾 晋 氏（新潟日報社報道部次長）

関谷 直也 氏（東洋大学社会学部准教授）

新野 良子 氏（株式会社新野屋専務取締役）

高橋 明男 氏（東京電力株式会社フェロー）

原 昭吾 氏（経済産業省原子力安全・保安院原子力安全広報課長）

泉田 裕彦（新潟県知事）

【主催】新潟県、柏崎市（柏崎市中越沖地震3周年復興祈念事業実行委員会）、刈羽村

【後援】出雲崎町、長岡市、上越市、NHK新潟放送局、新潟日報社

【協賛】新潟県道路整備協会、新潟県河川協会、新潟県治水砂防協会

【参加申込】

参加を希望する旨、氏名、住所、電話番号、希望する人数を明記の上、はがき、FAX又はメールで下記宛送付願います。また、電話でも受け付けします。後日、入場整理券を送付します。

申込先

住所（はがき等）：〒950-8570 新潟市中央区新光町4番地1
新潟県県民生活・環境部 震災復興支援課

FAX番号：025（280）5709

メールアドレス：ngt030180@pref.niigata.lg.jp

（参加申込に係る問い合わせ先）

震災復興支援課 計画調整グループ 電話025（280）5379

(6) 平成21年度環境放射線監視調査結果の評価

(7) 原子力防災訓練